

# 各単組最大限の努力を尽くした交渉を展開し 2025年春季闘争終結!

2025年春季闘争は、物価上昇が續くなか実質賃金の伸び悩みにより、厳しい生活を余儀なくされている組合員の生活不安・将来不安を払拭するとともに、「生活の安心・安定をめざす」ための『総合生活改善闘争』と位置づけ取り組んできました。要求提出以降、2回の交渉を経るなかで、春闘終盤においては山場対策に基づき、各単組が要求水準の引き出しに向け最大限の努力を尽くした交渉の結果、多くの単組で昨年を上回る回答を引き出すことができました。中央執行部に対する絶大なるご支援、ご協力に感謝を申し上げます。

## 金属労協集中回答日記者会見



2025.3.12第6回戦闘委員会

## 金属労協集中回答日における各単組の回答状況



全電線の回答状況を書き込む金属労協職員

## 妥 結 結 果

### 【賃 金】

賃金構造維持分：全単組で引き出し

賃 金 改 善：37単組で回答引き出し、平均引き上げ額：**14,420円**

### 【一時金】

平均妥結月数：**4.44ヶ月**、平均妥結金額：**1,381,631円**  
(年間平均回答31単組の平均)



## 中央戦術委員会単組からの一言!!



戸丸委員長(沖電線労働組合)

2025年春闘は、2年連続の会社業績減収減益での春闘となりました。

このようななかで執行部内での論議と、会社側との折衝・交渉を丁寧に行なうことで単組提出要求に近づけることが出来ました。

今後は、来春闘に向け会社との信頼関係をさらに良くしていきたいです。



最前列右から2番目

伊藤委員長(住友電装労働組合)

今春闘は「今、住友電装で働く人たちに還元をし、モチベーション高く働いてもらうことが今後に繋がっていく」との考え方を基本に交渉を展開しました。交渉については、経営側と大枠の認識は一致するものの、賃金の一括部分に隔たりがありました。粘り強く根拠や実績を訴えた結果、組合側の主張に重きを置いた、賃金・年間一時金ともに満額回答を引き出すことができました。春闘は労使の認識を合わせる貴重な対話の機会であり、今後の労使協議にも繋げながら引き続き諸活動を推進していきます。

## 全電線に加入後、初めての春闘を終えて



下村委員長(SWS西日本労働組合)

今回、「人への投資」という部分で役職者が少ないとや役職に上がりたがらない状況を踏まえ、中間層の賃金アップについて強く訴えてきました。

会社側としても同様に問題視されていたことと、企業の魅力向上による人材の確保・定着を図りたいという思いでご英断頂き賃金の満額回答につながったと感じております。

また、交渉資料作成にあたり、色々とアドバイス頂きました全電線関係者、住友電装労組関係者の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

大島委員長(MFオプテックス労働組合)



当労組は2024年10月1日に独立し、単位組織として活動していくなか、中央委員会において全電線へ正式加盟させていただきました。春闘方針を基軸に要求項目を模索する中、各諸会議に参加し、他単組の皆様と情報の共有をさせて頂いたことで、独立して初めての春闘を乗り越えることができたと考えております。今後も組合員の生活の安心・安全をめざし、活動を進めていきます。

## 第27回参議院議員選挙 全電線組織推薦候補 平戸 航太 知人・友人紹介活動スタート

電機連合組織内公認候補(参議院全国比例区)

ひらど こうた  
**平戸 航太**  
3つの政策

電機産業の力で魅力あふれる未来をつくります

誰もが心豊かに働き、成長を実感できる職場をつくります

将来にわたって安心して暮らすことのできる社会をつくります

ひらど こうた  
**平戸 航太**

37歳

国民民主公認予定候補者

ひらど こうた

平戸 航太

37歳

国民民主公認予定候補者

ひらど こうた